## 令和6年(2024年)度行政評価シート【個表】 令和 6年 6月 21日

評価対象事業			評価者	文化課長	島田 義正
共生-28	共生-28 <b>文学館管理運営事業</b>		■ 自治事務	主管課	文化課
	<b>人</b> 子郎官巧	E理呂尹未	□ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	2-(2) 文化	施策の方針	2-(2)-①文化	上活動の支援・促進

#### 1 事業の目的

	TAVER
	市民等
象	
図	観覧や教養及び調査・研究に資するため。
効果	鎌倉ゆかりの文学及び文学者に対する理解を深めることができる。

# 2 **令和5年(2023年)度に実施した事業の概要** 休館中の文学館を、委託等により適切に管理した。

3 事業を構成する事務事業(長小事業)実績

	尹未で情以り る 争務	尹禾(取	小尹未/天限						
枝	± 75 ± 116	実施し	た主な事業	15.1m / 15 / 15 /		05年度		令和6年度	`\ <b>+</b> - <b>\</b> -
番号	事務事業		(経費等)	指標(単位)	指標(実績 事業費(決算			指標(目標値) 予算額(千円)	達成度
01	文学館管理運営事業		委託料、倉	_	_	/	-	-	_
		庫賃借料	t	_	34,582	/	40,950	43,963	_
02	文学館維持修繕事業	維持修繕	料	_	_	/	-	-	_
					1,503	/	2,500	2,500	_
03	危険木伐採事業	危険木伐	採委託料		-	/	-	-	
				_	1,331	/	1,364	1,364	_
				国県支出金		/		1,518	
			財源	地方債		/			
			内訳	その他特定財源	14	/	21	14	
				一般財源	37,402	/	44,793	,	
				の合計(千円)	37,416	/	44,814	47,827	
			人作	‡費(千円)			4,478	4,717	

#### 4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
正規職員等	1.2	1.2	0.8	0.4	0.5				
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	1.0	0.5				

#### 5 評価結果

#### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	文学館管理運営事業	義務的な支出であり、指標の設 定には馴染まない。	館の適切な管理のため。	-
02	文学館維持修繕事業	義務的な支出であり、指標の設 定には馴染まない。	館の適切な管理のため。	-
03	危険木伐採事業	義務的な支出であり、指標の設 定には馴染まない。	館の適切な管理のため。	-

(2)	視	点	別	評	価
-----	---	---	---	---	---

<u> </u>					
	事業費の削減余地はないか		1 統合済み		
効率性	事業の外部化(民営化・業務委託等)	<b>まできないか</b>	1 実施済み		
	関連・類似する事業の統合はできない	か	3 統合できる事業はない		
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズは	あるか	1 市民ニーズは変わらずにある		
女当江	民間によるサービスで代替できる事業	はないか	2 民間によるサービスで代替できる事業はあるが、民間による提供が不足している		
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はど	うか	2 目的達成のために手段(最小事業)を改善する余地がある		
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-1 受益者負担を求めているが、その額や対象等を再検討すべき事業がある		
			○-1 市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要な事業がある		
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	協働実施済の場合のパートナー 市民団体(不特定)		

(3)総合評価	※最小事業評	価を踏まえて、今年度以降	<b>拳の取組方針等を記</b> 載	はする
「合体の七針】	□ 忧去	□ 北美.亦百	■ 1日小光光井	

	小取小子木叶			<u> </u>	
【今後の方針】	□ 拡充	□ 改善・変更	■ 現状維持	□ 縮小	□ 休止·廃止
文学館は本市	5ゆかりの文学及	び文学者の功績を市民等	に発信する場であり	、また、本市の文	化振興において重要
な役割を担って	いる。また、本市	i暑観重要建築物である本値	館やバラ園を有する	広い庭園等 魅力	1あふれる施設であ

り、コロナ禍以前は10万人を超える来館者が訪れた年もあったことから、妥当性については「市民ニーズ」を「変わら ずにある」とした。

文学館は、開館から約40年が経過し、施設・設備の老朽化が顕著であることから、令和5年度~令和8年度にかけ ては、施設を閉館し大規模改修を行う。閉館中は、市が管理者となり、施設及び収蔵品等について適切な管理に努 める。

#### 【参考】

#### ◎事業実施に係る主な指標

指標(単位) 利用	用料金収入(円) 単位							円
指標設定理	指標設定理由 年次 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 F						R6年度	R7年度
指定管理者からの提案による数値目標 (指定管理期間が令和4年度までのため、 目標も令和4年度までとしている。)		目標値	37,880,000	31,000,000	31,500,000	-		
		実績値	10,152,950	16,706,040	31,186,660	1		
		達成率	26.8%	53.9%	99.0%	1		

指標(単位)							単位	
指標設	定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		目標値						
		実績値						
		達成率						

### ◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	_			
団体名				
他市実績				
心中大惊				

当該事業実施に伴う
他市比較に関する考え方

歴史的建造物である特殊性のある建物の維持管理業務であり、施設を適切に維持するための義務的な事業であるた め、他市との比較による評価は馴染まないと考える。